

邪馬台国の夜明け

新たな視点と緻密な検証で真実に迫る

著者 高木豊博

出版社 東京図書出版

価格 2,420円（税込み）

発行日 2023年8月1日

魏志倭人伝の正確な記述が、おかしな解釈をすることで、その位置が不明になっています。そこで本来の解釈を復元しその位置を探ります。最初に魏使が歩いた道を忠実に再現し、その先の邪馬台国の位置を求めます。狗奴国も同様です。この過程で卑弥呼呼の名前の意味、その官の支配する地域を明らかにします。次に卑弥呼の名前の意味を明かし、それが日本書紀にあることを示します。卑弥呼が崩御した際の墓の位置を示し、その大きさが魏の100歩であり、それを取り巻く100基以上の殉葬墓の様相も明らかにします。また天の岩屋戸の出来事が、卑弥呼の時代の火山によるものであることを検証し、次に魏使の船での調査が九州一周に終わることを実証します。これらの過程で、邪馬台国が都城にあり、卑弥呼の墓が宮崎市にあることを示し、邪馬台国論争に終止符を打とうとするものです。

